

K.S.J.

KAGAWA SHINREN JIHO
KAGAWA SHINRIN KUMIAI RENGOKAI.

香川県森連時報

34

令和3年2月発行(年2回/1月・7月)

謹賀
新年

新年のご挨拶

森は地球の財産です。

JForest

会長新年のご挨拶

香川県森林組合連合会 代表理事会長 木村 薫



新年明けましておめでとうございます。

森林組合の役職員をはじめ組合員の皆様方におかれましては、本会の業務運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症が世界中を震撼させ、人々の暮らしに多大な影響をもたらすとともに、我々の事業活動に暗い影を落とした一年でありました。

また、昨年も7月に九州、中部地方を中心に大きな自然災害に見舞われ、あらためて森林の持つ公益的機能の高度発揮と、森林を適切に維持管理することの重要性を痛感させられました。

被害を受けた皆様方には謹んでお見舞い申し上げるとともに、一日も早く復興されますことを心から祈念申し上げます。

さて、一昨年から森林経営管理制度が開始されましたが、我々森林組合系統は、新型コロナウイルスの感染予防を図りながら、地域の森林管理主体として積極的に取り組んでいくとともに、森林環境譲与税を地域の森林整備に有効に活用するよう、市町と連携を図っていかなければなりません。

さらに、昨年は、森林組合法が改正され、組合員資格の拡大や、業務執行体制の強化策が講じられることになったほか、合併以外の多様な連携手法も導入されました。

平成28年度を始期とする森林組合系統運動は、今年度が最終年であり、全国森林組合連合会では、次期系統運動の基本方向のとりまとめに向け協議が進められているところですが、様々な施策や制度を活用しながら、森林組合系統の基盤強化等、積極果敢な運動を展開していきたいと考えております。

最後になりますが、会員の皆さんをはじめ関係機関各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、コロナ禍が一日も早く終息し、皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

謹
賀
新
年

香川県森林組合連合会

代表理事会長 木村 薫

副会長理事 三角 正博

代表理事専務 道久 工

理事 松浦 可稔

理事 五所野尾恭一

理事 三宅 義明

理事 井上喜代文

理事 宮本 欣貞

理事 大西 洋造

理事 小野 隆

代表監事 大塚 喬三

監事 佐々木 博

監事 大谷 徳

報告 木村会長が旭日小綬章を受章



令和2年秋の叙勲で本会の木村 薫会長が旭日小綬章を受章した。林業の振興に顕著な功績を挙げたこと等が評価されたもので、11月20日、県庁で伝達式が行われ、浜田香川県知事から勲記及び勲章が伝達された。

報告 県知事及び県議会に要望書提出

10月28日（水）本会と県内森林組合長会議は、低迷が続く林業情勢の中で森林整備に必要な安定財源の確保、県産木材の利用促進、里山資源の利用促進、森林環境譲与税の活用について、浜田香川県知事並びに西川香川県議会議長に要望書を渡し陳情を行った。



報告 林業労働安全衛生研修会開催

11月11日（水）塩江町森林組合、11月27日（金）香川東部森林組合、12月15日（火）香川西部森林組合において、四国森林管理局香川森林管理事務所富田忠雄調整官、池本育利森林技術調整官、林材業山本正晴安全管理士、林材業陶山芳伸安全技能師範を講師に迎え、林業労働安全衛生研修会を行った。研修会では昨年に引き続き、林業・木材製造業労働災害防止協会が作成した簡易リスクアセスメント記録書に基づき、グループに分かれて危険性又は有害性の洗い出しや、その低減対策を検討し発表を行った。総勢125名の林業事業体関係者が出席し、チェーンソー作業従事者については、振動特殊健康診断も行った。



報告 かがわ協同組合連絡協議会の中央公園清掃活動に参加

11月14日（土）当会をはじめとする県内の11団体で構成する「かがわ協同組合連絡協議会」は、高松市の中央公園で清掃活動を実施した。同協議会は協同組合の価値や社会における役割を県民に認知してもらい、連携して新たな価値を創出することを目的に平成25年6月に設立されたもので、総勢約50名が参加、同公園や周辺の歩道の清掃を行い、本会からも参加した。同協議会による清掃活動は7回目で、使用済み切手を回収し香川県ユニセフ協会に贈呈するなどの活動も行っている。



報告 人事異動

本会が指定管理を行っているさぬき空港公園で平成24年から所長を務めていた中林氏が、令和2年12月末をもって退職した。中林前所長は昭和53年から平成27年まで長きにわたり、香川県森林組合連合会の職員として県内の治山・林道事業をはじめ多くの森林造成、整備、保全に貢献し、県内の森林組合に対し、森林整備のための調査をはじめ、施工技術の指導に至るまで、豊富な経験を活かして適切な指導を行い、技術の向上や普及に大きな役割を果たした。平成24年4月からは、さぬき空港公園管理事務所に就任し、定年退職後も引き続き、管理事務所長（嘱託）として、同公園の適切な管理運営や県民サービスの向上に尽力した。



中林前所長の退職に伴い、中山正規副責任者が管理事務所長に就任するとともに、新たに職員を公募し、12月1日付で大西智也氏を技師補として採用、同公園の副責任者に就任した。



大西副責任者は三豊市出身の24才で、岡山県内の医療系大学を卒業後、松山市内の病院で医療機器の管理スタッフとして勤務していた。同公園の勤務にあたっては、これまでの経験を活かし、相手の立場になって公園の管理業務に取り組んでいきたいと話している。

報告 香川県漁連青壮年部連絡協議会による植樹作業



11月21日（土）、香川県漁連青壮年部連絡協議会による植樹活動が、公湊森林公園内の県有林において行われ、本会からも職員が参加した。

これは近年における瀬戸内海の低栄養塩化による漁場環境の変化により、漁業生産の継続が危惧されていることから、香川県漁連青壮年部連絡協議会が、森林と海の相互関係を重視し、荒廃している森林を豊かにすることにより、豊かな海を取り戻すため、荒廃した森林を整備して広葉樹を植え、豊富な栄養が河川を通り海に流れ込むよう取り組んでいるもので、今回は広葉樹を植樹する前の地帯え作業として竹林の伐採が行われ、総勢33名が参加し、汗を流した。

これは近年における瀬戸内海の低栄養塩化による漁場環境の変化により、漁業生産の継続が危惧されていることから、香川県漁連青壮年部連絡協議会が、森林と海の相互関係を重視し、荒廃している森林を豊かにすることにより、豊かな海を取り戻すため、荒廃した森林を整備して広葉樹を植え、豊富な栄養が河川を通り海に流れ込むよう取り組んでいるもので、今回は広葉樹を植樹する前の地帯え作業として竹林の伐採が行われ、総勢33名が参加し、汗を流した。



特集

さぬき空港公園便り

本会がさぬき空港公園の指定管理に取り組んで9年目の今年度は、昨年の冬から新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、世界的規模で大きな被害をもたらし、その状況は、1年たった現在でも続いております。当公園も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月、5月に行われた非常事態宣言では、公園も長期間の臨時休園を余儀なくされました。また、イベントに関しましては、多人数の参加が見込まれるものに関しては、自粛することとなり例年大変好評で多くの方にご参加頂いていた「真夏の雪遊び」「健康ミニマラソン」は中止となりました。

このような状況の中で、感染症対策を行った上で開催したイベントの実績について報告させていただきます。



アジサイ祭り

6月20日から30日まで開催した、さぬき空港公園30周年記念イベントである「ささやかなあじさいエリアの見学会」は、非常事態宣言解除後まもなくということもあり、大きなイベントとして開催することが難しく、予定

していた花苗の販売や各種体験イベントは中止となりましたが、見学会だけ実施しました。アジサイが見頃で大変きれいに咲いており、来園した方の目を楽しませておりました。今後は、2000本のアジサイの生育管理を重点的にを行い、毎年多くの方楽しんでいただけるよう整備してまいります。

10月3日に開催した「一輪車教室」は19名の方にご参加頂きました。人数制限を行い、定員30名のところを前半・後半各10名の計20名の募集を行い、開催中も利用者が密にならないよう休憩席等の配置に配慮しました。今回も初心者の方が多く、学校で使うので少しでも乗れるようになりたいと強く希望している方もいて、熱心に講師の指導を受けていました。



一輪車教室

11月1日に開催した、「グラススキー感謝祭」では、世界大会優勝経験者の新谷起世プロのレッスン会を開催しました。例年は10時・13時・15時の計3回のレッスンを行っていましたが、今回は、コロナ対策として10時・13時の2回で定員も大幅に削減しましたが、多くの方にご参加頂きました。

今期で4回目となる「香川県障がい者グラウンド・ゴルフ交流大会」は、11月3日に開催し80名の方にご参加頂きました。このイベントは、大変好評で来年も本公園で開催して貰いたいとの意見が多いため、次回も大会をサポートしてまいります。

また、同日、グラススキー補助インストラクターの検定会を開催しました。当公園のスタッフ1名が検定を受験し、補助インストラクター資格に合格いたしました。今後もグラス

スキーの指導力や技術力の向上を促進していきます。

今後の大きなイベントとしては、補助インストラクター資格を取得したスタッフを中心に、グラススキーの中級者教室を定期的に開催し、リピーターの増加に繋げていきたいと考えております。

また、3月から4月にかけては1000本以上のソメイヨシノが咲き乱れる花見のシーズンがやってきます。例年実施している開園時間の延長は継続して行う予定で、花見客が分散して花見を楽しめるよう今から計画を立てていきます。

公園の利便性向上に関しては、アドベンチャーゾーンの一輪車練習用の広場が一部再舗装され大変きれいになっており、自転車や一輪車の練習・ローラースケートやローラーボード、ラジコン等に利用されています。大変好評で、段階的に全面の再舗装が予定されており今後も整備を続けていきます。

さらに、トイレの洋式化を継続して行っており、今期で残っていた和式トイレがすべて洋式化する予定となっております。

公園のPR活動では、「さぬきこどもの国」「総合園芸センター」「高松空港」「香南アグリウム」等の周辺施設との連携を促進してきました。具体的には、各施設のイベントの際の駐車場の貸出やリーフレット等の設置、イベント情報のやり取りを密に行ってきました。また、昨年度に作成した空港周辺施設案内マップ（多言語対応）は、日本語・英語・中国語・ハンガルの4言語が記載された案内マップを各施設で配布しています。



ソメイヨシノ

最後となりますが、本会がさぬき空港公園の利便性の向上や、より良い維持管理業務を遂行できることも、関係各位の多大なるご支援、ご協力によるものと深く感謝するとともにお礼を申し上げます。これからもス

タッフ一同公園の適切な管理運営と県民サービスの向上に全力を挙げて取り組んで参りたいと存じますので、これまで同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



障がい者グラウンド・ゴルフ交流大会



グラススキー感謝祭

